ほうすい小学校

ほうすい小学校のキャラクター紹介

みんなの友だち「クスク」と、物知り「くすじい」

クスク

明るく元気な妖精。

好奇心いっぱい！みんなとすぐ仲良くなれる。

校庭の大きな楠から生まれたというウワサも…？

くすじい

校庭の大きな楠に住む、やさしい長老。

学校のこと、地域のこと、なんでも知っている。

たまにダジャレを言うお茶目な一面も。

ふたりは、ほうすい小学校の大きな楠に住んでいる仲良しキャラ。

クスクは子どもたちと遊ぶのが大好き、くすじいは歴史を語るのが得意。

これからもみんなを見守っていくよ。

クスク：このマークは僕たちのほうすい小学校の校章なんだよ。

くすじい：うむ。桜の花の中に「ほう」の文字と「水」を表す 3 本の線をデザインしたもので、学校創設者の重宗ほうすい氏の理念が後世まで受け継がれていくことを祈念して制定されたのじゃ。

クスクとくすじいと振り返るほうすい小学校のあゆみ

クスク：ねえくすじい、この学校っていつからあるの？

くすじい：ほうすい小ができたのは、ずっと昔の1918 年。明電舎の初代社長の重宗ほうすい氏が社員の子どもたちが通う学校を作りたいと考えたのが始まりなんじゃ。

　　　　 ちなみに、校章が制定されたのは1935 年のことじゃ。

　　　　 伝統の 100メートル 直線コースが受け継がれて、屋上緑化や太陽光発電など環境にも優しい校舎になったんじゃ！

クスク：今の校舎は4代目なんだね。この頃クスクが生まれたよ！

　　　　だいじに使っていきたいね！

品川区立ほうすい小学校

〒141-0032

大崎3の12の22

1年112人　 2年116人　 3年118人　 4年126人　 5年139人　 6年126人

合計737人

（令和7年8月1日時点）

編集：倉田・夏間